

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

「つながりの場」

令和 7 年12月18日（木）

合同会社ソラリコ

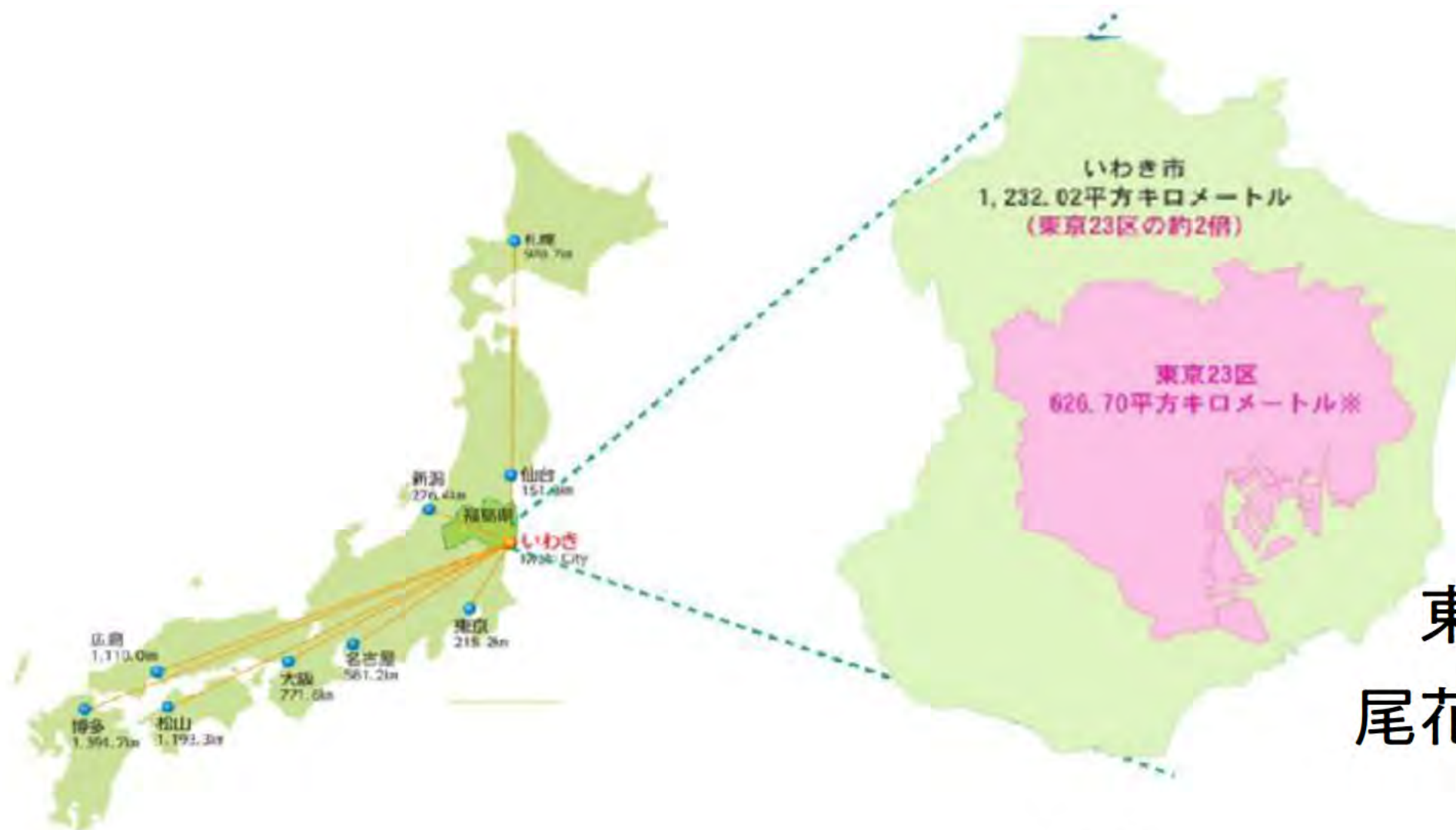
猪狩（イガリ） 僚

【自己紹介】



- | | | |
|---------|-------------------------|--------------------------|
| 1978年 | 福島県いわき市生まれ | |
| 2002年 | いわき市役所に入る | |
| | 水道局営業課 | (2年でクビ) |
| 2004年 | 市街地整備課 | (1年でクビ) |
| 2005年 | 公園緑地課 | |
| 2009年 | 財政課 | (この時、東日本大震災) |
| 2013年 | 行政経営課 | (市総合基本計画改定担当) |
| 2016年 | 地域包括ケア推進課 | (新設部署、初の福祉) |
| 2017年9月 | igoku (いごく) 立ち上げ | |
| 2019年 | グッドデザイン賞 金賞受賞 & ファイナリスト | |
| 2020年 | 介護保険課 | (1年でクビ) |
| 2021年 | 健康づくり推進課 | (<u>1年でクビ 2年連続3度目</u>) |
| 2022年～ | 医療対策課 | |
| 2025年7月 | 退職 | ー 合同会社ソラリコ設立 |

【福島県いわき市の紹介】



東根市・村山市
尾花沢市・大石田町

福島県いわき市

人口 約 **32** 万人

約 **9** 万人

面積 **1,232** km²
23区、2つ分の大きさ

約 **860** km²

● 活動紹介

1. igoku

1. 知る・場づくり

WEBのいごく



紙のいごく



2. 体験する・場づくり

いごくフェス開催



キーワード

まじめに・不真面目 ≡ 面白がる

● 活動紹介 体験する・場づくり





GOOD DESIGN
AWARD 2019

**BEST
100**



2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-

igokuの取材で出会った北2区集会所



かつての炭鉱地区の長屋的な集落。

旦那さんは既に亡くなった90代の女性がたくさん。

70代の後輩たちが30人のセンパイたちに、ご飯をつくる。

月に一度だけど、みんなで集まって、楽しいことをして、
ご飯を食べて、おしゃべりして、お茶を飲んで。

こんな活動を10年以上前から、誰に言われたわけでもなく、
やっている。

2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



川前 地域振興（駅前居酒屋）

2017-18 年頃

2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



2023年

2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



役所を頼らず、地域の有志が古民家を借り上げ、リノベし、
クラファンと寄付で300万円集めて、『小さな拠点』を立ち上げた！



WEBサイト

いらっしやいませ！ いつだれkitchenにようこそ！

いつだれkitchenは、2019年4月にスタートした「みんなのお勝手」です。「子ども食堂」ではないので、「子ども」じゃなくてもどうぞおいでください。料理を提供する人とお客さんとの線引きしたくもないので、「食堂」でもないんです。米たい時に来て、食べたければ食べて、お好きにどうぞと台所をかけて、「お勝手」なんです。みんなのお勝手 いつだれkitchenへようこそ。

スタッフ

実は、介護や障害などの福祉の専門職の集まりなんです。ご飯食べがてら、気軽に相談してくれてOKですし、普通の飲食店に行くのが難しいなんてケースもどうぞお越しください。

管理栄養士

社会福祉士
主任ケアマネ

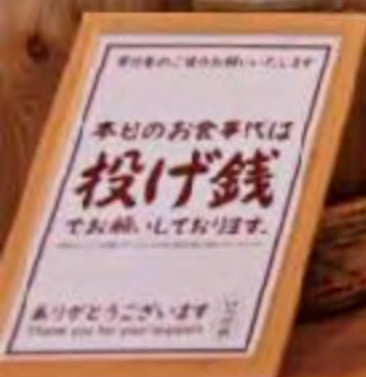
NPO 法人
代表

投げ銭

その時頂いた食材を料理にするので、決まったメニューも料金表もありません。置いてあるビンの中へ、あなたのお気持ちをお入れください。

頂き物の食材

作りすぎたり、もらいすぎた野菜やお米。台所に眠っている調味料。食べきれない、使い切れない。でも、捨てるには忍びない。そんな食材がありましたらお持ちください。温かい料理にして、みんなで食べましょう。





2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



2. 「つながりの場」 -場と食のチカラ-



2. 「つながりの場」-場と食のチカラ-

いつだれkitchenのお茶の先生

いつだれに来た80代女性。

記憶は30分ぐらいしかありません。認知症です。

聞くと、かつてはお茶の先生だったとのこと。

ある日、「私、みんなにお茶を振舞ってもいい？」

それから、毎回、お茶の道具を持参して、

食後、まわりのお客さんにお茶を振る舞うように。

今や免許も失効しながらも、ボランティアで
みんなが送迎し、毎週水曜はオレンジカフェの、
毎週木曜はいつだれkitchenのスタッフとして
大活躍しています。



＼Keyword／

くくらない
呪いの解放



＼Keyword／

“場”のチカラ
“食”のチカラ



「カリフォルニア から来た娘」

カリフォルニアから来た娘症候群とは、これまで高齢の親と疎遠な関係にある遠方の親族が、終末期医療の場面で、それまで近隣の親族や医療チームと時間をかけて築き上げてきた合意を覆し、そのケアに異議を唱えたり、患者の延命治療を強く求める状況を指す言葉

大事なポイント 「する」ではなく「いる／寄り添う」

「する」のではなく、

難しくても、短くても

「一緒にいる」

「少しでも（一緒に）いる」

↑（私たち福祉）行政にも言えませんか？

（何かを）する／事業・予算化に偏ってない？

「場」と「食」のチカラ

